

令和7年度

中央公民館地域フォーラム開催結果

公民館地域フォーラムとは？

地域や利用者の皆様に、公民館の事業や運営などへの理解を深めていただくこと、そして皆様の意向を公民館運営に生かすため、自由に話し合い、共に考える集まりです。

<概 要>

日 時 令和7年10月24日（金）13時30分～15時
場 所 中央公民館 第1学習室
参加者 10人（公民館利用者、地域自治団体等）
進 行 中央公民館

<フォーラムの進め方>

～公民館からの概要説明～

公民館の沿革、公民館の運営方針、利用状況、登録団体数、事業実績と計画、利用者アンケート結果などについて説明しました。



～公民館事業活動への意見交換～

概要説明、公民館事業活動、地域課題を学びに生かすこと等について意見交換しました。

<ご意見等>

○施設利用面について

- ・自分たちの活動で公民館にチラシの依頼をするときは、営利、宗教、政治のほかにも設置にふさわしくない内容もあることが分かったので、チラシを依頼する際は、事前に公民館に相談しようと思った。
- ・少子高齢化で、町内会等についても担い手がいなく、地域活動が手薄になっていく中、市内で中央公民館の利用人数が高い方なのは、中央公民館がこの地域にあるから使いやすく愛されているのだと思う。市民委員会の各専門部が行事企画する際も中央公民館を利用しており助かっている。
- ・中央公民館で子育てサロン「プルメリア」を実施しているが、公民館で用品運搬や会場設営をフォローしてくれるので感謝している。中央公民館は歴史ある建物で最新のものに近づくには課題が多いが、様々に工夫した公民館運営に感謝しながら、できるだけ長く活動が続けていきたいので、多方面からの皆様のご協力をいただきながら進めていきたい。
- ・地域の近くに公民館があることがメリットで、青少年も高齢者も近くにあるから公民館に来やすいと思う。

○公民館の事業活動について

- ・地域エリアの中でシニア世代の支援や高齢者のつながりづくりをしているが、朝日地区は比較的に地域活動が活発で、中央公民館を起点にふれあいサロンや公民館事業等で人のつながりができていると思う。
- ・介護保険だけで支え合うのではなく、中央公民館と共催で「ゆるっと学びの広場」を実施しており、今後も地域の支え合いや各自の健康寿命を延ばす取組をしていきたい。
- ・先日の地域食堂ひまわりは、子どもから高齢者まで約160人参加してくれたが、普段、会ったことのない人との出会いや交流ができる場となっていることが良かった。8月のろうそく出せ事業は、子どもが来なくて寂しいと思っている高齢者がいるので、その支援にもなっていたと思う。
- ・放課後に孫が行くところがなく不在の私の家に友達と来ていることがある。開放事業は令和7年度から放課後自習室の参加者が皆無であったため将棋・囲碁開放に変更とのことだが、お母さんたちも働いている世帯が多いため、若い保護者が関係する家庭教育支援、青少年教育の充実や広報活動に力を入れてほしい。
- ・子どもが公民館に来やすい取組として、例えば高齢者が活躍する場として、高齢者が講師となり子どもたちに何かを教えたり、逆に子どもたちが講師になり高齢者に何か得意なことを教える企画があると、高齢者が活躍できるし、子どもや若者も活躍できる相互交流に発展し、地域づくりや地域の人材づくりにつながっていくと思う。
- ・例えば情報リテラシーの関係もあるので適切でないかもしれないが、高齢者はスマホの操作が苦手なので、地域の中学生や高校生、大学生等に使い方や操作（補足で詐欺サイト等の注意喚起含む）を教えてもらうようなことでも良いし、高齢者は現在や昔の得意だったことで若者に教える。その若者と高齢者をつなぐ媒体や手法はそのほか色々あって良いと思う。人が集まって有意

義な活動をすれば、交流ができ、その輪は広がっていくし、地域の発展につながると思う。

- ・中央公民館では様々な事業をしているが、「男だけの運動教室」と「ゆるっと学びの広場」を知っている方が少ないと感じている。せっかく良い事業をしているので、ネットや回覧板等含め事業周知の仕方を考えてほしい。

- ・百寿大学に参加している。地域貢献を切り口にすると百寿大学では花壇整備、小学生と交流を深めたり等をしている。ひと昔の学生数は約50人だったが現在は30人程度である。何かと人が集まりにくい状況下ではあるが、高齢者の生活に密着したカリキュラムを取り入れたら入学者も増えるし、欠席が減り、学生にも身の入った講義になると思う。

○地域課題を学びに生かすために

- ・朝日地区は約2千人が高齢者で、うち約千人が単身世帯となっており、不安な気持ちになっている方がいるので、今の中央公民館を拠点に高齢者がコミュニティを図れる取組をしていきたい。

- ・地域でラジオ体操を行っているが、老若男女が参加してくれるので、保護者と子どもの顔や、子どもと祖父の顔を確認することもでき、いざという災害時等の各家庭の様子を予想できるので、今後も継続したい。

- ・高齢者支援のため中央公民館でふれあいサロンを行っており参加者が多くなってきたが、その分スタッフが不足する状態となっているので、スタッフを集める工夫をしていきたい。

- ・朝日地区の子育て世代は転勤族が多く、子育てサロンの保護者が定着していない状況であるが、逆に転入時は知っている人がいないことから中央公民館の講座等に参加し、そのつながりから子育てサロンに参加してくれる方もいる。最近父親も参加しやすい傾向にある。全体的な参加者数は減少傾向にあるが、減っていることを理由に子育てサロンをやめる方向性はなく、できるだけ長くこの同じ場所で地域の人たちが歩いて公民館に来ることができる距離が大切だと思う。

- ・中央公民館芸能部門サークル・団体芸能発表会を行っているが、年々、高齢化に伴い出演団体も普通のサークルや会員数も減少してきており、サークルの統廃合している状況である。

- ・先日はサークルの会員と同じマンションに住んでいる方が連絡がとれないので確認したら亡くなっていた事例もあった。

- ・高齢化、一人暮らしの高齢者の増加、少子化、町内会の担い手不足等の課題があるが、人口の増加につながる施策が必要と思う。

- ・高齢者が増え運転する人も少なくなり、活動場所への有効な交通手段がなく集まりづらい状況である。活動時間とかなり違う時間にバスが1本しかない方もいる。

- ・高齢者が街中に出る機会が減っているので、街中に買い物に連れていく経験をすると喜んでいる事例を聞いている。移動課題の観点からでは、中心街でない地域で福祉事業所等からハイエースを活用し地域の集いやサロン等に送迎してもらう取組をしている事例もある。旭川市の一括サポート手配事業を含め検討することも可能と思う。

- ・地域の子どもたちは、知らない人に声かけられたら逃げなさいと教えられており、気軽に地域のおじさんが声をかけるのは困難な時代になったが、中央公民館で交流する場があれば、保護者も安心なので、話す機会や安全につながると思う。

貴重なご意見、ご提言をいただき、誠にありがとうございました。

皆様のご意見につきましては、中央公民館の運営や事業活動に反映させるよう努めてまいります。

今後とも、中央公民館運営に、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。